

重要

平成 27 年 10 月吉日

お客様各位



9 月 30 日官報告示 新薬のご案内

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2015 年 9 月 30 日に新薬告示されましたので、告示情報を案内いたします。今回告示された薬品を使用される場合、下記の内容をご確認いただき、必要に応じて薬品追加をお願いいたします。なお、マスタ提供予定日まで使用する予定の無い薬品につきましては、薬品追加の必要はございません。詳細は下記のとおりです。

敬具

記

《マスタ提供予定日》

NEXT のお客様	2015年10月3日(土)	マスタ早期提供サービス
	2015年10月8日(木)	配信アップデート

《告示情報》

8ページ以降をご確認ください。

《作業手順》

薬品マスタ追加 ……「薬品原本マスタの登録手順」(P2～)

薬品マスタ付け替え ……「薬品コード付け替え手順」(P4～)

《ご注意》

- ① 各医薬品の原本マスタにおいて、ハイリスク薬は未だ提供できておりません。お客様の責任において設定をお願いします。
- ② 追加登録した薬品に、ハイリスクフラグ、体質フラグを設定していただいている場合、薬品原本の情報に更新すると登録内容が失われます。あらかじめ、設定をご確認いただき、薬品コード付け替え作業後に、再度設定をしてください。

薬品原本マスタの登録手順

- ① メニュー画面より、**マスタ登録(T)**⇒**調剤系**⇒**薬品登録**を選択すると、薬品一覧画面が表示されます。
- ② **F1**原本を選択します。薬品原本選択画面が表示されます。
作業前に1度、薬品原本マスタが存在しないか、コード検索してご確認ください。
- ③ **F2**追加を選択すると、薬品登録画面が表示されますので、必要な内容を入力してください。

《必須項目》

- ①種 類 : 該当種類(剤形)を選択してください。
- ②コード1 : 処方入力時の呼び出しコードを入力してください。(濁点半濁点は除く。)
- ③薬 品 名 : 正式名称を入力してください。
- ④単 位 : 該当単位を一覧から選択してください。
- ⑤略 称 : 薬品名が複写されます。
- ⑥YJコード : 代替入力の場合は必須です。空白のままだと候補薬にあがりません。
- ⑦電算コード : 該当薬品の電算コードを入力してください。(レセプト請求時に必要です)
- ⑧薬 価 : 該当薬品の薬価を入力してください。
- ⑨麻 毒 : 該当する薬品は加算を選択してください。
- ⑩その他フラグ : 後発品の場合は、「5:後発品」にチェックを入れてください。
ハイリスク薬の場合は、「7:ハイリスク」にチェックを入れてください。
- ⑪薬価履歴 : 後発品・後発品あり・置き換え率の情報を入力します。
(次ページの④を参照ください)

- ④ **F1**薬価履歴を選択して、告示情報を元の後発品・後発品あり・置き換え率の情報を入力します。

電算コード	薬価	麻毒	後発品	後発品あり	置き換え率	開始日	終了日
0	0なし		0,	0,	0,	M321230	H621231

- 後発品欄では、下記のいずれかを選択してください。
 - 1.後・・・後発医薬品
 - 2.※・・・先発品と薬価が同等か高い薬品
 - 3.先・・・先発品
 - 4.他・・・生薬・漢方薬など昔からある医薬品
 - 5.準・・・昭和 42 年以前に薬価収載された医薬品のうち、
価格差のある後発医薬品が存在する薬品
- 後発品あり欄では、世の中に後発医薬品が存在する薬品の場合に「1, ○」を選択します。
- 置き換え率欄では、下記のいずれかを選択してください。
 - 1.先無・・・後発医薬品がない先発医薬品
 - 2.先有・・・後発医薬品がある先発医薬品
 - 3.後発・・・後発品
 - 8.☆・・・後発医薬品と同額又は薬価が低い先発医薬品
 - 9.★・・・先発医薬品と同額又は薬価が高い後発医薬品

⑤ 更新履歴画面の情報を入力後、エンターキーでカーソルを送り、**F8**決定を選択します。

⑥ 薬品登録画面に戻ります。**F8**登録を選択してください。

⑦ 複数の薬品を登録する場合は、同様の手順で登録してください。

登録が終わりましたら、**ESC**終了を選択し、メニューに戻ります。

以上で作業は終了です。

※ 薬品の追加登録時に電算コードが不明であっても処方入力が可能です。電算コードが不明な場合は、電算コード欄は「0」のままで登録してください。

薬品を追加登録後、後日、電算コードが判明しましたら、下記の手順で登録してください。

NEXT メインメニューより、**マスタ登録(T)**⇒**調剤系**⇒**薬品登録**を選択して、該当薬品にカーソルを合わせ、**F4**修正⇒**F1**薬価履歴を選択した画面で電算コードを入力します。

薬品コード付け替え手順

※ この処理は、新薬を手動で追加したが、後日マスタ更新でその薬品が原本に登録された等の理由で1つの薬品に対して「追加薬」と「原本薬」の2つのマスタが出来てしまった場合にマスタを統合する処理です。

作業前の準備

- ★ 過去の処方データを書き換えます。**作業前に必ずバックアップを行ってください。**
- ★ 複数台でコンピュータをご使用の場合は、他の端末のNEXTを終了してください。
- ★ 追加登録した薬品に「ハイリスクフラグ」や「体質フラグ」に登録されている場合は、薬品原本の情報に更新すると登録内容が失われます。あらかじめ、設定をご確認いただき、付け替え作業後に再度設定してください。

2-1 マスタ登録画面でのコード付け替え作業手順

例) 薬品テーブル 薬品原本
 700001 ミカルディス錠40mg 217673 ミカルディス錠40mg

- ① メニュー画面より、マスタ登録(T)⇒調剤系⇒薬品登録を選択し、F10補助を選択します。「マスターコード置換」画面が表示されます。
- ② 画面が上下2つに分かれております。上側 追加薬品 / 下側 薬価原本

- ③ 変更したい薬品(ミカルディス錠40mg)に青いカーソルをあわせてF1切替 を選択します。
- ④ カーソルが薬価原本に移動しますので、F7検索を選択し検索コード欄に「ミカル」と入力してエンターキーを押します。

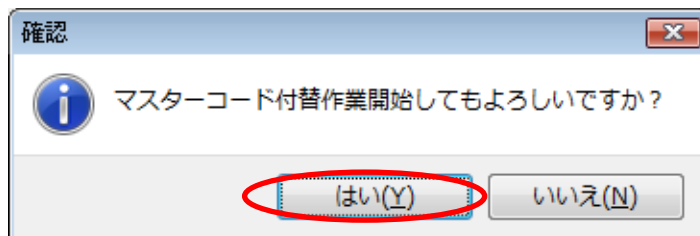
- ⑤ 薬価原本の「ミカルデイス錠40mg」にカーソルをあわせて**F6**選択を押すと下記画面になります。

マスターコード	コード	種	名称	単位	薬価	付替先コード
700001	ミカル1	内	ミカルデイス錠40mg	T	125	217673

付替先コード欄に「ミカルデイス錠40mg」の原本マスターコードが表示され、次の薬品にカーソルがあります。

薬価原本欄のマスターコードと付替先コードが同じ数字になっていることを確認してください。

- ⑥ 続けて他の薬品も行う場合は、③の手順から繰り返します。
- ⑦ 付替先コードがつかましたら**F5**開始を選択します。
「マスターコード付替作業開始してもよろしいですか？」→**はい**を選択すると処理が始まります。



- ⑧ 付替作業が終わると、薬品一覧画面に戻りますので**F1**原本を選択し、付替作業を行った薬品(ミカルデイス錠40mg)を検索し、もう一度、エンターキーで選択しなおします。

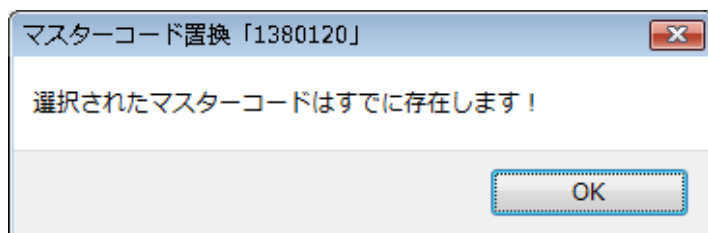
- ⑨ 薬品テーブルと薬品原本とで異なる情報があった場合は、下記メッセージが表示されます。**F3**全選択を選択し、すべてのチェックボックスにチェックが入っていることを確認し、**F8**決定を選択します。

※ メーカー名や一般名称などは、薬品原本の内容が薬品テーブルにコピーされます。

- ⑩ 他の薬品も付け替え作業を行った場合は、⑧以降の同じ作業を行います。

<ご注意>

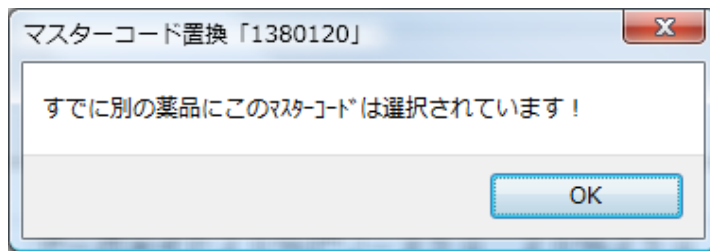
- 付け替えたい薬品(原本から薬品一覧にあげた薬品)が薬品一覧にあがっていると、付け替え作業が出来ません。



このメッセージが出ると、
付け替え作業できません。

追加薬品(70000番台の薬品)に表示期限や有効期限を当月末日で入力をして、以後使用ないようにしてください。

- 以下のメッセージが表示された場合は、「付替先コード欄」を確認してください。変更が必要な場合は、変更する薬品行にカーソルを合わせ、**F4**解除を選択します。「付替先コード欄」が空白になりますので、もう1度③からの手順を行います。



2-2 薬情文章と画像の登録手順

- ① メニュー画面より、**マスタ登録**→**調剤系**→**薬剤情報**を選択します。
- ② 「薬情薬品一覧」の画面が表示されますので、付け替え作業を行った薬品名を検索して**F4編集**を選択します。
- ③ 当社より提供している情報に更新する場合は、**F9リセット**を押してください。
F9リセットを押しても情報が入らない場合は、薬情文章や画像の情報提供が出来ていない薬品となります。申し訳ございませんが、お待ちいただくようお願いいたします。
文章が空白の場合は、文章を手入力するか、似た効能効果の薬品から複写作業を行ってください。
- ④ **F8登録**で終了です。

以上

種	電算コード	薬品名	単位	金額	後発品	後発品 あり	加算	薬価基準コード	置き 換え率
注	621699702	ダルテパリンNa静注5千U／5mL「KCC」 5千低へパIU	管	701.00	後			3334403A1104	後発